

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市古江台5丁目計画 新築	階数	地上7F
建設地	大阪府吹田市古江台	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、法22条	平均居住人員	323 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年1月8日
敷地面積	3,673 m ²	作成者	長優弥
建築面積	1,302 m ²	確認日	2020年1月9日
延床面積	6,145 m ²	確認者	鷺田員利



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 63%
 ③上記+②以外の 63%
 ④上記+ 63%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合 2面の道路に面しており、道路沿いに可能な限り緑地を設けることで、周辺環境に配慮しながら隣接した緑地との連続性を感じられるような計画としました。 また、車両と歩行者とのアプローチを分離し安全性に配慮しました。		その他 特になし。
Q1 室内環境 界壁、界床の防音対策もできる限り行っています。	Q2 サービス性能 給排水配管において更新必要間隔の長い配管を使用したり、維持管理がしやすい設計となっています。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に可能な限り緑地を設け、まちなみや景観に配慮しています。
LR1 エネルギー 住宅性能評価 省エネルギー対策等級4取得予定です。	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 駐車場・駐輪場を十分な台数確保しています。 また、車両の出入り及び歩行者が敷地外へ出る際の見通しを確保しています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0138

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市古江台5丁目計画 新築工事					
	建設地	大阪府吹田市古江台5丁目					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.4	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		